

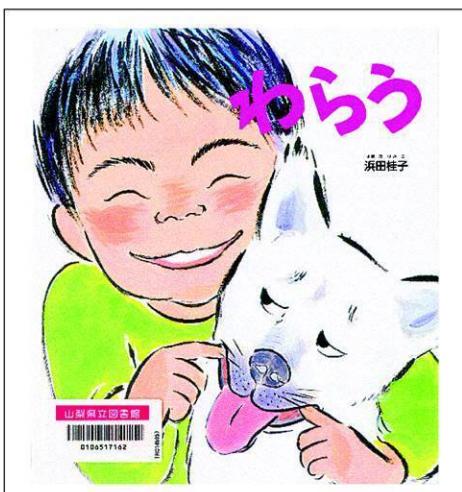
小学1・2年生向け

わらう

浜田桂子作

けんは、にいちゃんとにらめっこをします。お互いに変な顔をして見せて、笑った方が負けです。けんはいつも笑ってしまい、にいちゃんに勝てません。なぜか勝つ方法がないかと考え、「あしたはぜつたいわらいませんように」とおまじないをしました。次の日、にいちゃんとにらめっこをすると、笑わずにいられました。けれどもその後、朝ごはんに大好きなハムエッグがあっても、仲良しの友達に会っても、けんは笑いません。怒っているような顔のけんを、「おなかいたいの?」「げんきになってね」と友達やお母さんが心配します。僕は元気なのに、「どうしてかな?」と考えたけんは、その理由に気がつきました。それは…。

(福音館書店 990円)



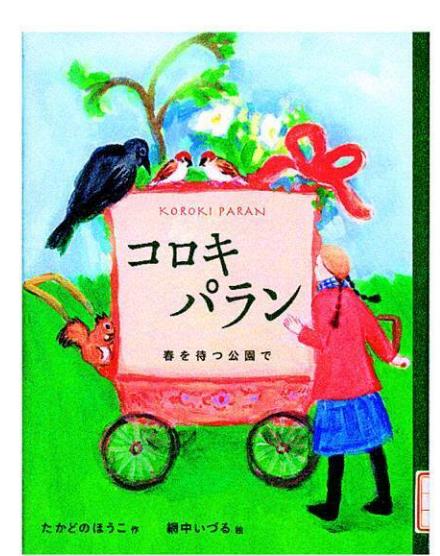
小学3・4年生向け

コロキパラン 春を待つ公園で

たかどのぼうこ作 綱中いづる絵

私は、クラスメートの森田さんと一緒に、公園でバレンタインのチョコレートを売るアルバイトすることになりました。森田さんはチョコを売る係、私はチョコに添えるカードに、チョコを買った人の似顔絵を描く係です。最初は上手に描けるのか心配でしたが、お客様さんは「似てる似てる!」と喜んでくれます。「コロキパラン…キロコラポン!」と鳴るオルゴールの音に励まされながら、似顔絵を描き続けました。おばあさんや、中学生の女の子、まんまるい瞳をした子どもたち、さまざまなお客さんが来ました。チョコが全部売れた後、店じまいをしていると…。

(のら書店 1540円)



図書館へようこそ

小学5・6年生向け

折り紙でたくさんの笑顔を 盲目の「折り紙大使」加瀬三郎物語

田島栄次文・写真

折り紙大使の加瀬三郎さんは生まれつき視力が弱く、小学5年生の時にほとんど何も見えなくなりました。大人になり、仕事以外に趣味を持ちたいと折り紙を始め、指先で形を確かめながら折り方を覚えて、近所の子どもたちの前でオリジナル作品を折れるほどになりました。ある時、この本を書いた田島さんに、ベトナム難民の子どもたちに折り紙を教えてほしいと頼まれました。加瀬さんが一枚の紙からイスやネコなどの動物を次々に作りだすと、子どもたちは笑顔になり、喜んで折り始めました。この本は、加瀬さんが世界各地で開いた折り紙教室の様子を写真付きで紹介しています。笑顔を生み出す折り紙の力と、加瀬さんの情熱に心を打たれる一冊です。

(Gakken 1320円)



気持ち表れる「顔」に注目

うれしい、かな悲しいといった人の気持ちは顔に表れます。また、顔には見るための目、食べるための口など大事なパートがあります。顔はいったいどんな仕組みでできているのでしょうか?

今回は、顔をテーマにした本を紹介します。(山梨県立図書館 山田あや)

=毎月第2週に掲載します

中学生向け

ビジュアル 顔の大研究

原島博、馬場悠男、奥水大和監修、日本顔学会協力、
こどもくらぶ編

「顔」について研究する新しい学問「顔学」を紹介した本です。例えば、生き物の顔には目や鼻、耳、口がありますが、進化の過程で最初にどの部分ができたか知っていますか? 怒った時や怒っている時、表情筋はどのように動いているのでしょうか? また、身近なものが顔に見える時がありますが、私たちはどうして顔だと思うのでしょうか? この他に、人が化粧をする理由や、コンピューターによる顔認証の技術、似顔絵などについて、写真や絵を使いわかりやすく説明されています。この本を読むと、自分の顔ともだちや友達の顔、ペットの顔を改めて観察してみたくなるはずです。

(丸善出版 4620円)

